

## 安全への取り組み

当社では、徹底して安全作業を行えるように 毎月安全会議を設けております。

参考資料を基に、月々に応じての注意事項や災害事例を挙げて原因を探り、その傾向と対策を話し合います。

この会議を通じて、職長ならびに作業に関わる者皆に 気持ちの緩みや馴れを引き締め、毎日徹底させるKY活動やミーティングの大切さを再度確認し、安全に作業を進めれるように教育しています。

※ 下記は安全会議資料より

### 令和1年度 安全衛生管理基本方針

#### スローガン

『高めよう、感受性！』 しない・させない 不安全行動

#### 社訓

##### 一、誠実

人として最も大切なのは誠実であり誠実は信頼を得る基であり信頼が発展の第一条件である。

##### 二、協調

経営は全員の終結であり人の和こそ企業の推進力である。互いに信じあい譲り合いの明るい職場を築く。

##### 三、奉仕

奉仕の精神を社業に生かし会社の繁栄を図り従業員の生活の安定と向上を図りより良い会社の建設に貢献する。

#### 目標

- ① クレーム ゼロ
- ② 三大災害（墜落・転落・飛来落下）の撲滅
- ③ 4 S（整理・整頓・清掃）の徹底

#### 運動

全員による危険予知活動（KYK）の充実  
（危険を予知して危ない作業はしない・させない）

# 安全会議の様子

講師を迎え、それぞれの立場からの意見・質問交換などをします。  
 社長、部長とともに安全作業の見直しを図ります。  
 皆で安全に作業できる環境作りを目指しています。

安全衛生対策実施記録		6月度	作成 中島	承認 原
安全衛生対策会議				
実施年月日	令和 1 年 6 月 25 日			
実施場所	社内会議室	(PM17時20分～PM18時00分)		
参加人数		20名		

## 会議内容

### ● 建設現場における熱中症対策 ●

先月に引き続き、熱中症対策(予防)についての会議を行いました。

梅雨の晴れ間や、梅雨明けの蒸し暑くなった時期にも熱中症は多く見られます。この時期は身体がまだ暑さに慣れていないため上手に汗をかくことができず放熱量が低くなる為、体温をうまく調節できません。

熱中症は真夏にかかるものだと思いがちですが、梅雨の時期、曇りの日でも発症するということ。

特にこの時期は梅雨の晴れ間などにも要注意です。

暑い日が続くと、次第に身体が暑さに慣れてきます。これを「暑熱順化」といいます。

#### ~~~~~ こんな日は要注意 ~~~~~

- ◇気温が高い日 ◇暑くなり始め ◇湿度が高い日 ◇風が弱い日 ◇日差しが強い日 ◇熱帯夜の翌日
- ◇照り返しが強い場所 ◇熱いものがそばにある場所 ◇急に暑くなった日
- ◇体調が悪い日(下痢や発熱等) ◇二日酔いの日 ◇朝食を食べていない◇寝不足の日

#### ~~~~~ 熱中症からカラダを守ろう ~~~~~

- ◇効率的な水分補給 ◇塩分をほどよく取る ◇睡眠環境を快適に保つ ◇休憩をまめにとる
- ◇日陰を利用する ◇着替えを準備しておく
- ◇冷却グッズを身につける ◇丈夫な体を作る ◇自己管理を怠らない

右のような熱中症の症状が疑われた時は  
 すぐに職長に相談・報告をしましょう！

めまい・湿疹・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の汗・頭痛  
 不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害  
 痙攣・手足の運動障害・高体温 などの症状

体調管理をしながら、ゆっくりと暑さに慣れていくことが大切です。

